

兒玉譽士夫 わが国 右翼運動家。明治四十四年一月十八日福島縣生れ、
 昭和五十九年一月十七日歿（九二―八四）。鐵工所上質から、赤尾敏の
 建國會、津久井龍雄の急進愛國黨に参加。天皇直訴事件、大行會事件
 等でご下獄。出獄後外務省囑託、陸軍參謀本部囑託を務め、昭和十六年
 いは兒玉幾郎をご設り、海軍の物資調達に當つた。終戦後東久瀨内閣の
 參與となるも、A級戦犯に指定せられ、拘留三年。その後と政界の黒
 幕ごごしく活動。五十二年ロッキード事件ご起訴せられた。

著書 『獄中獄外』（八版・昭和十七年十二月十日ヤシヤ青年社）、『運
 命の門』（昭和二十五年十月―二十五日鹿鳴社）、『芝草はふれごと
 一葉鳴戦犯の記録』（東京一夫編、昭和二十一年一月一日新文刊新聞
 社）、『悪政・銃声・乱世』（昭和四十九年十月一日廣済堂出版）等。

